

II-1. 研究者のためのキャリア開発セミナー

概要

「研究者のためのキャリア開発セミナー」は博士課程学生及び若手研究者を対象とした1日研修です。このキャリア開発セミナーに参加すると、自らのキャリアの中で今自分がどういう段階にいるのか、そして自らの能力や関心がどうなのかをより明確に把握することができ、次のステップにはどのようなものがあるのか、また自分の希望が研究や学問を続けることなのか、それともその他の分野に進むことなのか、またどのようにしたら自分を事業者が一番うまく売り込めるのかについて考えることができるようになります。VitaeのRDF（研究者開発フレームワーク）エンプロイアビリティ（雇用されうる能力）・レンズを用いて、研究者が自分にとって重要な能力に焦点を絞れるようにお手伝いします。

参加者がセミナーの中で行うこと

- 研究やアカデミア以外の選択肢も含めたキャリアの可能性について視野を広げる
- キャリアの成功とはどういうものかについて理解を広げる
- 将来どうなりたいかを考え、そこに至る計画を作成する
- 自分の長所、動機、価値、そして才能について掘り下げる
- 詳しく調べてみたい候補となる職業を特定する
- 自分のアクションプランを決める

学習成果

セミナー終了までに参加者ができるようになること

- さまざまな潜在的なキャリアの可能性が認識できる
- 自分の能力を認識できる
- 潜在的なキャリアの可能性の中から自分の能力、価値、推進力に合うものを見つけることができる
- 事業者に効果的に自分を売り込むことができる
- 雇用の機会を見つけ出すための現実的で達成可能なアクションプランを作成できる

セミナーの概略

時刻	セッション	詳細
09:30 – 10:00	歓迎のあいさつと紹介、セッションのねらい	ファシリテーターの紹介と経験的学習プロセスの説明。
10:00 – 10:45	研究者の仕事	多くの分野にわたる研究者のキャリアの可能性とその価値について説明。
	交流のための休憩時間	
11:15 – 12:30	キャリアコンセプトの構築	現在の仕事と次の仕事をはるかに超える内容を網羅するべく「キャリア」の定義と範囲を広げる。参加者が自分のキャリアの状況をより良く認識できるようサポートする。各参加者が自分のニーズと条件をまとめるよう促す。
	昼食	
13:30-14:30	フレームワークの提供	Vitaeの研究者開発フレームワーク（RDF）の概略紹介。エンプロイアビリティ・レンズを基準に評価し、二人一組で能力を証明しながら、「エンプロイアビリティ」の意味についてディスカッションする。

14:30 – 15:30	参加者のキャリアビジョン	職務内容を RDF や自分の履歴書と比較する。面白そうな仕事ややりがいがありそうな仕事を選択する。将来的に可能性がありそうなキャリアについて、能力の開発方法や証明方法を考える。
	休憩時間	
16:00 – 16:30	(続) 参加者のキャリアビジョン	その日に作ったキャリアマップを見直して、時間の経過と共にそれがどのように変わったり、展開したりする可能性があるのかじっくり考える。
16:30 – 17:00	次にすべきこと	その日に学んだことを基に各参加者がじっくり考え、アクションプランを作成する。